

園庭拡張に伴い交通安全対策を

無所属
あさはら としや
浅原 俊也



町長 安全性の確保に努める



▲通園、通学時の交通安全対策を
(播磨幼稚園園庭付近)

問 播磨幼稚園園庭拡張事業に伴い保護者送迎用の駐車場も整備される。整備に当たり、出入口付近の安全対策や、隣接する歩道幅員の拡大、防護柵の設置など、特に園児・児童への交通安全対策が必要と考えるが検討は。

答 駐車場出入口は円滑で安全な出入りが可能となるよう、歩行者や車両などを直視により確認できる構造とすることや、付近の歩道に対する安全対策も検討し、園児・児童の交通安全確保に努める。

町長 検討 最適な交通手段を
「コミュニティバス導入を」

問 地域公共交通活性化協議会の設置状況及び実現までのロードマップは。

答 令和5年度は計画策定、令和6年度以降に計画に掲げた施策について試行実施・実証運行予定である。

問 面倒な申請や予約が必要なく、気軽に、安く、簡単に乗れるコミュニティバスが早急に必要と考えられるが見解は。

答 住民アンケートや意見交換会、交通事業者へのヒアリングにより最適な交通手段を検討する。

問 今後タクシー券は必要と考えるが、利用拡大に向けての方策は。

答 対象者を拡大して移動支援に努めている。今後は傾向分析やニーズを踏まえ、金額や枚数などについても考慮する。

その他の質問
▼町政に対する町長の理念、ビジョンは

早期の带状疱疹ワクチン助成を

公明党
きむら はるえ
木村 晴恵



町長 令和6年度に実施する



▲加齢疲労、ストレスなどの免疫力低下で発症

問 昨年、令和4年12月定例会の一般質問で伺っているが、再度見解と対応を伺う。

带状疱疹は加齢疲労、ストレスなどによる免疫力低下が発症の原因となり、50代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれる。

自治体によっては、ワクチンの普及と啓発を目的として、独自の助成制度を行っており、全国的には増えつつある。ウイズコロナの状況下では、まだまだ多くのストレスがかかる現状である。

問 昨年、令和4年12月定例会の一般質問で伺っているが、再度見解と対応を伺う。

答 国の動きにも進展はない状況である。ご意見のとおり带状疱疹ワクチンの啓発とともに、健康寿命を守るためにも、来年度、令和6年度に実施する方向で、国や近隣自治体の動向も勘案しながら、対象者や助成額、助成方法などを検討していきたい。

問 実施する方向ということは、来年度予算計画に確かに入るのか。

答 加古川医師会や近隣市町とも連携し協力しながら、令和6年度の新規事業として、予算を組み立てていきたい。

その他の質問
▼本町の「災害対策本部」の業務継続性確保は
▼気象防災アドバイザーの活用を

ここを聞く

6月13日～14日の2日間、7人の議員が一般質問を行い、町政全般にわたり町当局の考えをたどりました。



▲録画配信

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針に対する質疑、政策的提言などを執行機関に行うものです。

質問者	質問事項
1 無所属 浅原 俊也	(1) 町政に対する町長の理念、ビジョンは (2) 危機管理は (3) 公共交通は (4) 播磨幼稚園園庭拡張事業は (5) ロードレース大会は
2 公明党 木村 晴恵	(1) 带状疱疹ワクチンの助成を (2) 本町の防災力強化は
3 無所属 竹内 基就	(1) 教育の無償化は (2) ひきこもり状態にある人の社会復帰支援は
4 播磨町民の会 宮宅 良	(1) 持続可能な行政経営を (2) 地域共生社会の実現を
5 チーム新星 大北 良子	(1) 町の居場所づくりは (2) 駅前活性化は
6 政風会 岡田 千賀子	(1) 保育待機児童対策は (2) 高齢者の健康対策は (3) 带状疱疹予防対策を (4) 秋ヶ池運動公園で気軽にスポーツを
7 チーム新星 奥田 俊則	(1) 防災計画の水防は (2) 持続可能な財政基盤の確立は (3) 市街化調整区域は